

〔令和元年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、流域関連公共下水道事業の第4期事業にかかる汚水幹線築造及び管渠の面整備、第5期事業の着手に向けた測量業務等を実施することにより処理区域の拡大を図るとともに、浸水対策等下水道施設の整備を進めました。

汚水整備事業としては、流域関連公共下水道区域において下水管渠を16,566m、マンホールポンプを3箇所整備しました。また、宇治・中村特定環境保全公共下水道区域においては、下水管渠を25m整備し、五十鈴川中村浄化センター施設の長寿命化計画に基づき機器更新工事を行いました。汚水管渠布設延長は、合計で451,912mとなりました。

雨水整備事業としては、吹上ポンプ場他3施設の機器更新工事を行っています。

下水道の施設管理については、持続可能な下水道事業の実現を目的に、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、「伊勢市下水道ストックマネジメント計画」を策定しました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	3,474,087
収益的支出	3,338,862
当年度純利益	135,225
その他未処分利益剰余金変動額	206,526
当年度未処分利益剰余金	341,751

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として減債積立金に積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	71,140,623	負 債	62,644,162
固定資産	68,706,752	固定負債	31,560,487
流動資産	2,433,871	流動負債	2,537,608
		繰延収益	28,546,067
		資 本	8,496,461
		資 本 金	7,388,364
		剰 余 金	1,108,097
		資本剰余金	766,346
		利益剰余金	341,751
合 計	71,140,623	合 計	71,140,623

3. 業務量の概要

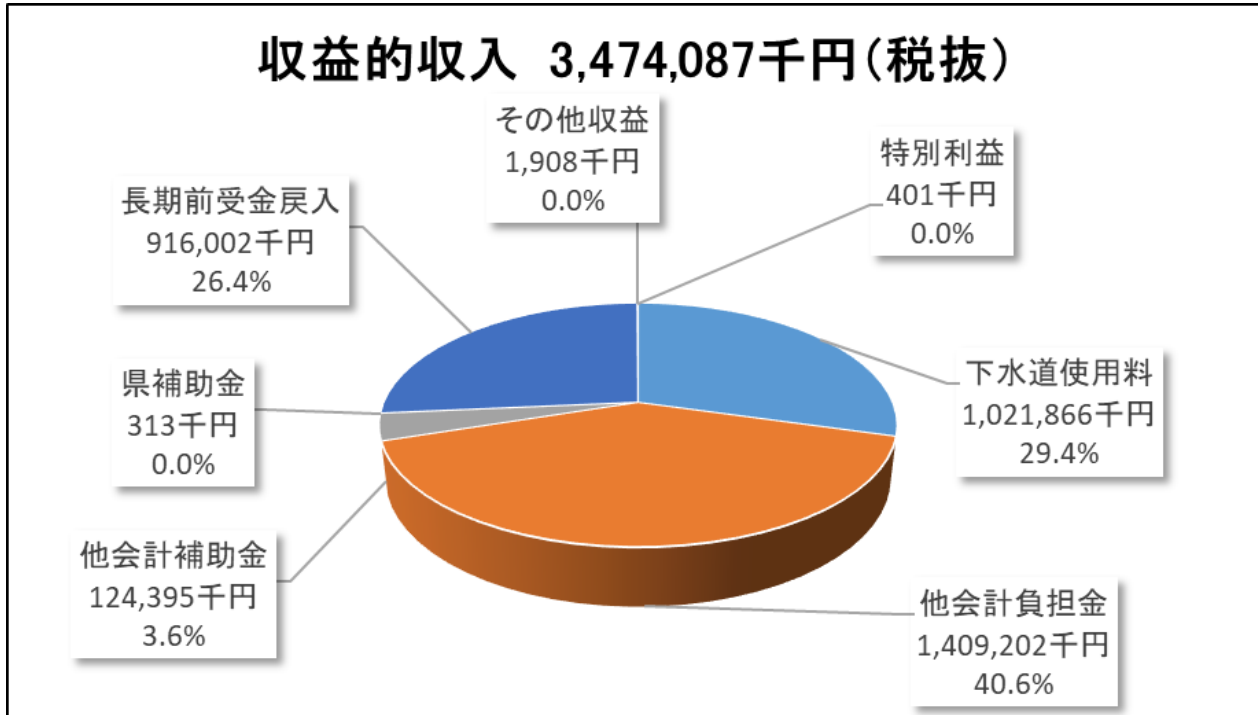
項 目	令和元年度	平成 30 年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
行政区域内人口 A 人	125,043	126,060	△1,017	99.2%
処理区域面積 ha	1,844.7	1,780.6	64.1	103.6%
污水管渠布設延長 m	451,912	435,321	16,591	103.8%
処理区域内戸数 戸	30,635	29,293	1,342	104.6%
処理区域内人口 B 人	69,666	67,721	1,945	102.9%
水洗化戸数 戸	24,713	23,830	883	103.7%
水洗化人口 C 人	56,366	55,268	1,098	102.0%
普及率 B/A %	55.7	53.7	2.0	—
水洗化率 C/B %	80.9	81.6	△0.7	—
処理水量 D m ³ /年	6,552,539	6,533,562	18,977	100.3%
有収水量 E m ³ /年	6,633,481	6,533,399	100,082	101.5%
有収率 E/D %	101.2	100.0	1.2	—
雨水管渠布設延長 m	12,270	12,270	0	100.0%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,871.0	2,699.7	△828.7	69.3%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

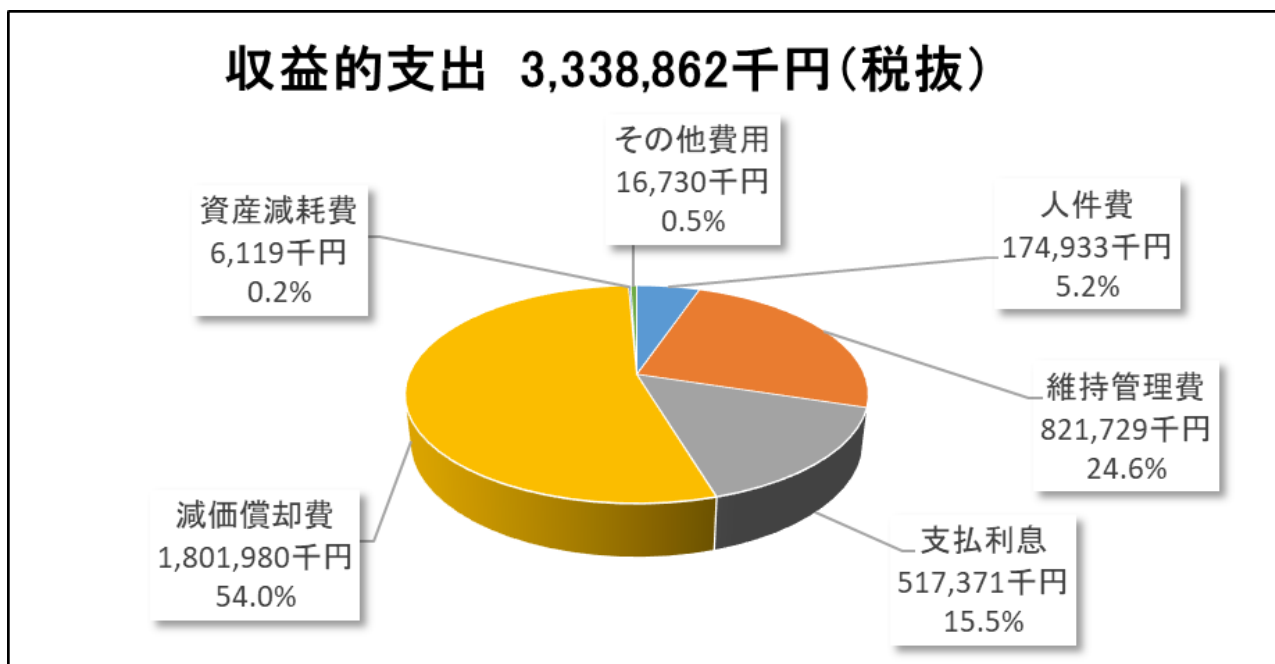
① 収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金、長期前受金戻入等で構成しています。



② 収益的支出

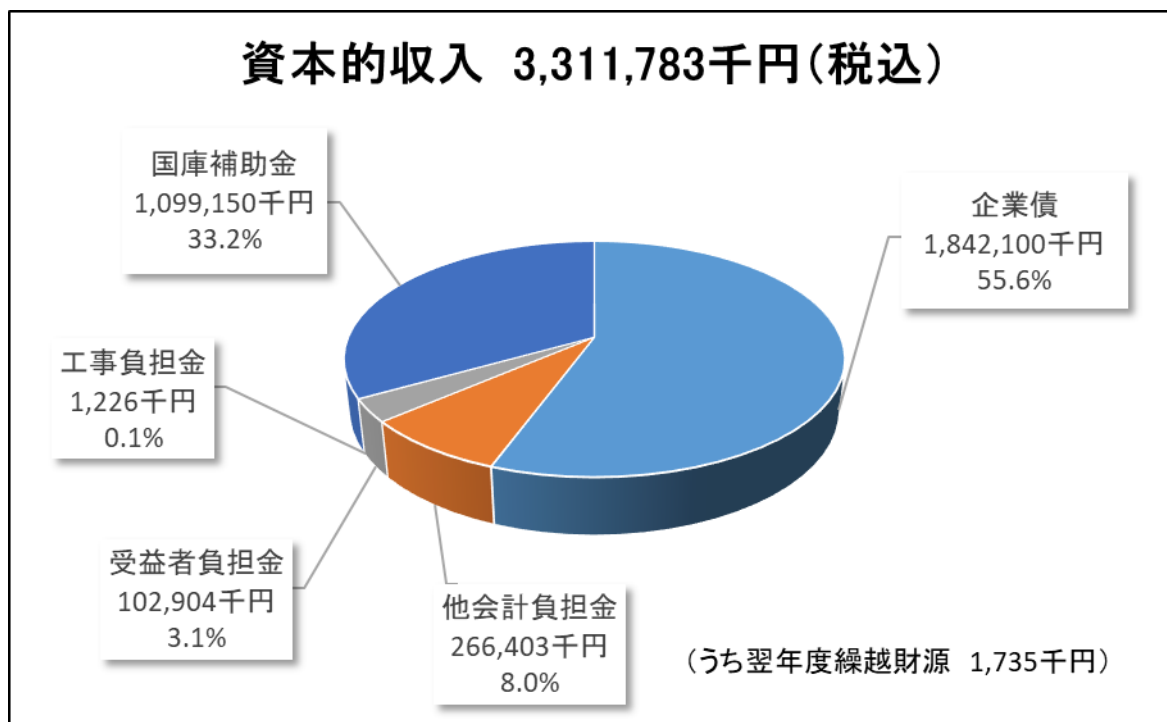
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

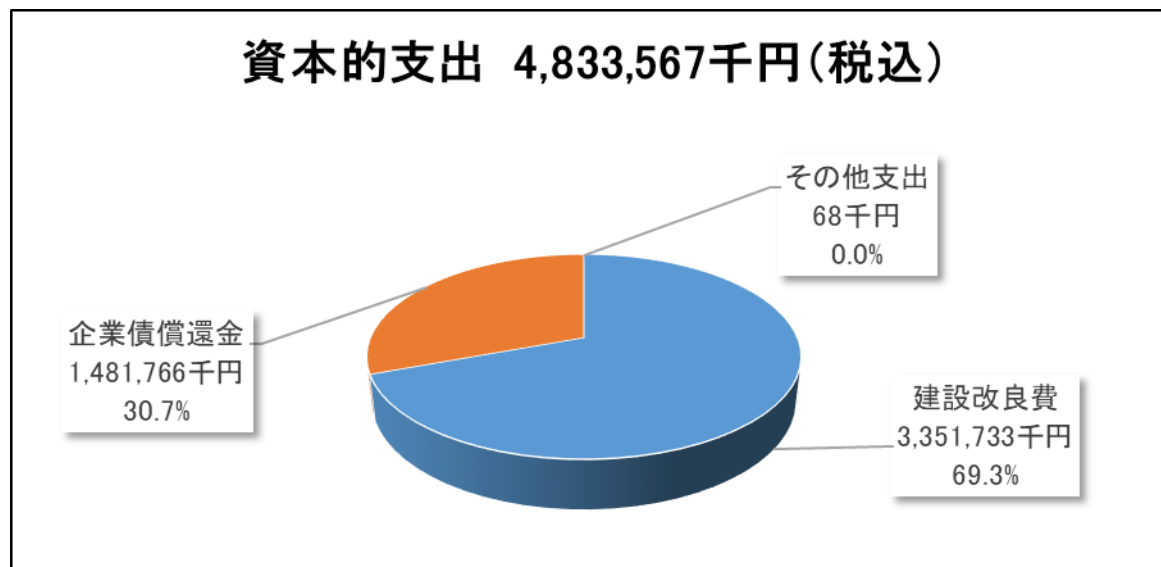
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金等で構成しています。



② 資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 1,735 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,523,519 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 133,616 千円、減債積立金 206,526 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,183,377 千円で補填しました。